

株式会社平沢建装

平沢聖三 × 八木裕



代表取締役 平沢聖三

20歳で業界入りし、職人としての修業を積んだ後、興平沢建装を設立。四半世紀におよぶキャリアで築いた、優れた職人間のネットワークを武器に、京阪神全域という広範囲をカバー。難しい現場にも対応する高い技術力で、大手建築会社からの信頼も厚い。

八木 軽鉄工事、ボード工事などを手がける平沢建設さん。事業内容について具体的に教えていただけますか？
平沢 簡単に説明すれば、建物の壁や天井をつくる工事です。軽鉄材という薄い鉄板を用いて骨組みを行い、プラスチックボードと呼ばれる石膏ボードで壁や天井の下地をつくりま

す。
八木 これまでどんな施工を手がけてきたのですか？
平沢 ホテルや病院、ショッピングモールなどですね。
八木 普段何気なく見ていた壁や天井にも、その下地部分には職人さんの巧みな技が隠されていたんですね。平沢 弊社で働いてくれる職人や、協力会社の方々がいるから、大きな工事も遂行できます。さらに言えば、日々頑張れるのも家族がいるから。仕事を任せてくださる取引先の方々へも、深く感謝しています。
八木 周囲への感謝を忘れない平沢社長の姿勢は、平沢建設さんの仕事へのスタイルにも通じている気がします。

平沢 そうですね、現場では協調性や和、チームワークを重要にしています。職人が多く集まる現場では、個性がぶつかりあうことも珍しくないので、弊社の場合は勤務する職人、協力先の職人さん、いずれも熟練の人ばかりなので、阿吽の呼吸ができあがっているんですよ。
八木 どうしたらそれほどのチームワークが築けるか、ぜひ知りたいです。
平沢 「下手な仕事は自分自身が許せない」という思いをみんなが持っているからだと思います。人の目につかない場所の工事だからこそ、よりいっそう誇れる仕事をしたと感じるんです。
八木 職人さんのそういったこだわりや美意識が、世界に誇れる日本のものづくりを支えてきたのでしょね。次世代の職人の育成についても、そろそろお考えではないですか？
平沢 そうですね。弊社では今も20代の若手が頑張ってくれています。今後は、さらに若い職人を育てていきたいです。

大型施設の壁や天井を裏で支える職人仕事



〒555-0001
大阪府大阪市西淀川区佃
2-4-18
【事業内容】
軽鉄工事／ボード工事



野球解説者 八木裕

ドラフト3位で阪神タイガースに入団。1990年から3年連続20本塁打以上を記録する。1998年には代打率5割以上をマークし、「代打の神様」と呼ばれる存在に。引退後は阪神タイガースの2軍打撃コーチも務めた。現在は野球解説者として活躍中。